町のたより
発行所
愛媛県喜多郡
長濱町役場
印刷所　岸本印刷所
電話212番

長濱町議會の動き

町村合併に眞向な熱情

適正規模の町村結成、この世紀の要望に応へて起ち上る長浜町議会の様想は、まことに、ひた向きな熱情のものであります。

大洲市の構想に先立つて迅早く町議会内に特別委員会を設定、内外の情勢を洞察しつゝその向ふ処を誤らぬ様細心の注意を払つて来たのでありました。

真に細心の注意であり、適正な判断を誤まらなかつたと云へませう。それは大洲市誕生への声なき協力であり援助であつたとも云へるのであります。

川下区が大洲と共に活潑な動きを見せたなら、川下と中央との中間部にある村落が帰すうを決するのに様々な障害を与へたことでありませう。

今や大大洲市建設の基盤は固く、県の構想に成る川下区大同団結の議決も目捷の間に迫つています。

かてて加へて長浜町自体の行財政の面に於きましても例年にない多くの事案を生じ、従前ならば毎月講回の定例又は臨時議会で事足りたものが、次の様に度々の招集で議員諸氏も大いに酷使される形となつたのでありまして　これら一連の活動状況の大要を抄録して見ましよう。

三月の定例並に四月の臨時議会の記録は、既に本紙に依り報導済みでありますから五月以後の模様をお知らせ致します。

◇五月七日臨時議會

中学校建設に關連する四議案が本会議で原案通り可決され、協議会に入り

1.中学校工事請負契約の経過報告の後地鎮祭についての打合せがあり

2.喜多石油よりのタンク設置願ひの件が協議され、出願位置は漁業者との関係が深いので同組合の同意書を添附させることで決。

◇五月十一日厚生委員長出張

宵島に医者をおいて貰いたいと云ふ要望は久しいものであつたが果さず、この程西田県議のあつせんで、三島町の医師を紹介されたので、町議会から西村厚生委員長が、現地に出張、種々折衝が重ねられた。

◇五月十三日町村合併促進委員會

去る四月の本委員会では促進法の内容について疑議ありとし、明確な説明を受けたいとの要望があつたので、大野地方事務所長を首班とし、西田県議の臨席も得て、熟心な討議が行はれその質を確認し、合併促進に新たな決意を固めたのであつた。

◇五月十四日総務委員會

宵島漁業協同組合の内部組織を検討し、次回では、経済委員会との合同審議を行ふことゝし、黒川総務委員長より、本組合の健全な育成に協力が要請され閉会した。

◇五月廿一日総務経済合同委員會

青島漁協再建について両委員会の合同会議が持たれ今村経済委員長司会の下に熟心な討議が進められ結局

1 組合長は組合が自主的に組合員中より選出すること。

2 顧問制を設けて組合運営についての強力な援助母体とすることを勧告すること。

3 今後の運営に於ける経済的援助については新役員と協議することを決議した

◇五月廿九日臨時町議會

会計閉鎖に対処する議出入の最後的調整を行ふべき繰上充用、一般会計追加更生、特別会計追加更正の三議案を議了し、地方税法改正に伴ふ町税条例の、改正案を逐條審議、何れも原案通り可決した。

次いで協議会に移

1 宵島漁協再建に関して、今村経済委員長より委員会の経過を報告

2 青島医師の招聘折衝経過につき当日缺席の西村厚生委員長に代つて助役から報告

3 岸本商店と喜多石油会社の共願に係る町有地払下については、経済港湾両委員会に、払下げるがよいか、貸与するがよいかの検討を附託

◇六月五日経済港灣合同委員會

前議会で附託された町有地払下共願のことについて協議

結局払下にしても貸与にしても一を採つて他を捨てると云ふことは町様会の育成発展の上から見ても執るべき態度でないこの結論に達し、両者間の妥協あつせんに乗り出すことになつたのであるが、之には今村、藤沢両委員長が委員会を離れ、個人の資格に於て担当することになつた。

◇六月十七日総務委員會

年間税收の見通しもつき、町政に一応の落着きを見たので役場内部の人事配置等につき理事者より総務委員会に対し具体案を示し諮問した。

本委員会には瀾野、赤穂正副議長も出席し、黒川委員長を中心に慎重審議が行はれたのであるが。

1 雇員として三年以上勤續する者の中から、技手、書記補に登格せしめる者を詮衡する。

2 博物館法に基く学芸委員の設置は尚研究保留のこととする。従つて水族館の今後の性格についても慎重に検討する。

3 離島青島に対しては、新たに生じた上水道の管理を首め、島内諸業務の管理上、従前の如き関係吏員の出張執務より寧ろ常駐者を置くことの妥当性を確認し之を制度化する。

ことに決定した。

◇六月二十三日経済委員會

長浜農協の再建について今回同組合から協力を求められたので担当委員会に諮つたところ

1 組合組織について検討する

2 組織に伴ひ役員改選を検討する

3 組合員の増資を速かに決定する

4 町有力者の出資を期待する

等の基本線を打出し次期町議会に諮ることになつた。

◇六月二十五日町村合併促進委員會

川下区町村合併については六月二十日迄を各町村自体の研究、周知期間とし、その結論を直ちに持寄るべく豫定されていたのであるが　産婆役の地方事務所の都合により、若干延期されることと、関係町村の動向について満野委員長より説明報告があつたが、兎も角早急に実現せしめよとの声が圧倒的で、合併気運は彌が上にも高められて来た。

◇七月二日定例町議會

主なる議案を捨つて見ると。

1 農業委員会法の一部改正に伴う同委員定数の改正で、従来選挙に依る委員定数は十五名であつたを十名に減員する

2 宵島に於ける町政を担当させる為、全島に駐在所を設け吏員一名を常置する

3 本年度一般会計の追加豫算で

（イ）歳入は税法改正に伴う町民税の減額と、たばこ消費税の新財源との調整を主体として八三万の増

（ロ）歳出では、青島常駐職員費、小学校営繕費農業委員及海区漁業調整委員の選挙費等を主体として約三十万を追加、餘剰分約五十三万は豫備費に編入する

等であつた

以上各議案を原案通り決議　次いで報告に移り

1 青島漁協のその後の役員陣容

2 石油貯藏庫敷地の經過を今村委員長より

3 青島医師招へいの件は先方に意志なき為打切つた旨

西村委員長より報告

終つて協議に入り

1 農協再建については、左の特別委員を選任し農協代表者、町理事者と共に対策を講することになつた。

今村、黒川　村上、上田

大西、藤沢各議員

2 起重機設置については業者間の統一された意識がぼかされているやの疑義があり、理事者に新て実情を調査することになつた。

其の他数件の協議を終り、午後五時閉会した。

町長上京報告

末永町長は今明年度豫算獲得の為、県係官と共に上京中であつたが去る二十九日帰町、その成果を次の如く報告した。

◎港灣について

明年度豫算の第一回ヒアリングに参加した。継續事業分の外、新たな要望として現在の港内県道副ひに、巾五十米延長三〇米の桟橋式荷役場建設のことが一応考慮される段階となつたことは大きな收獲と云へよう

肱川口両岸に導流堤を出すことについては建設省との関聯もあり、研究課題として取上げられてゐる。

◎水道について

二十八年度三百万円で着工した上水道増補改良工事は本年度完結を期し各省に折衝、建設大蔵及び自治庁では七百万円のわくを打出したが独り厚生省のみが六百万円を堅持して譲らず、帰町迄に決定を見なかつたが、尚目的達成に努力する

◎下水道について

目下港町一帯に四百五十万円の豫算で施行中の下水道事業の継續分として種々書策したのであるが、今のところでは三百万円だけの確約に終つた。尚今後之が増額に努力する。

尚在京郷土選出代議士諸先生は何れも元気で夫々の立場で活躍されてゐたことを併せて報告致します。

鮎

青年の夕

傍聴感

長浜青年団主催の第一回青年の夕は去る六月二十日午後七時半から役場階上に於て、松山商大教授、伊藤恒夫氏を招いて催ふされた。

新しい決意に燃えて起ち上つた青年達に対する、いたわりと激励の思ひをこめて、老壮及婦人層の参加もあつたのであるが、聴衆は豫想を下廻り、而も中途で退席する人が多く、最後迄熱心に講演された講師にはお気の毒な思ひがした。

戰後、左右両勢力の重圧下におかれている我国の現況において、青年は如何にあるべきかと云うテーマの下に講演されたものであるが、その内容を極言すると、アメリカの対日政策の否定と、ソ聯文化の肯定及び、道義国家としてのソ聯の礼讃であつたと云へると思う

これに対し聴衆からは、不可侵条約を侵してのソ聯参戰の事実、旧満洲国内に於ける文化、生産施設を破壊し押收した行為は如何なる意義を持つのか、ソ聯は侵略をしない民族であると云はれることが了触出来ないと鋭い質問があつたり、ソ聯国内に於ける刑罰法令の実態、県下青年団の思想動向等についての、聴衆相互間での激論が飛び出す等一寸変つた一面もあつたがそれだけ老も若きもこの問題に関して、強い関心を抱いてゐることの証左としてうなづけると思う。

筆者は常に考へさせられることであるが、日本人はよく読書する。そしてその読んだものの内容を直ちに鵜呑みにして信じ込んでしまう。これは非常に危険なことだと思う。

たとえば、ソ聯びいきの人はソ聯を謳歌した文献をことごとく信頼し、見て来た人の如くこれに陶酔する

そして現実に終戰後の所謂解放地区での悲惨な生活を体験して来た者の語るところをさへ、それは象のしつぽに觸れただけで全てを語るものでないと云ふ。

然らばその人が果してその全べてを体験して来たのかと云ふと全然見てゐない只書いたもののみに信頼して左様に信じ込んでゐるのである。こういう人には他の論を掲げるものばそれはうそだとあつさり割り切る特性を持つている様である

私は日本人が日本人としての意志を培ふのに何も見ても来ない、而も習慣、民族性を異にする他所のことをあげつらう必要はないと思う。

日本の今の自衛手段が、徴兵制度を再現し、海外派兵をも辞せずとする如き馬鹿げた傾向に対し国民は敢然として闘えばよいのである、即ち我々の前に展開されんとする事実につき良識を以つて与論を結集すればよいのである。

何もソ聯は侵略しない国であるからこれを対象としての軍備はいらないと云う様な餘分なことを云ふ必要はない。我々はもう戰争は嫌だ、憲法にもこれは明確に定めてある。国内治安を維持する為の防衛手段は大いに強化せよ。其の他の軍備は全廃してその金で社会保障や教育政策を強化せよと云うだけでよいのではないか。

それをアメリカの政策をこきおろす為に似ても似つかぬ国情であるソ聯を引き合ひに出し、これに肩替りさせようとする様な導き方は寧ろその国の片鱗だけとは云へ現実に触れて来た人々にとつては逆効果も甚だしく、そのことに依つて正しい主張の再軍備反対、平和国家文化社会建設と云ふこと自体にさえもやかゝりボヤけて来るのでなからうか今日尚アメリカでなければならないと云ふ様な考へ方の者はそう沢山はいないのだろう。だが何故ソ聯に追随しなければならないのか。尠くとも思想と言論と職業の自由とは認められないソ聯に。日本には日本の歴史があり日本民族は依然として世界に誇り得る優秀民族たる本質を失つてはいない。過去に於てその方向を誤つていたものを正しく向けかへて再びその優秀性を発揮すればよいのである。

今日アメリカを目の仇としている自讃智識人らが、彼等の最も巧みに日本を骨抜きにしようとしている手段、即ち教育と云うものを通じて、日本の民族性や慣習制度を破壊せんとする陷せいに気付かず、新学制なりとする自己陶酔に耽り（特に精神訓育の面に於て）不知不識の間にアメリカの思ふツボに陷りつつある大矛盾は、ソ聯一辺倒の風潮と併せて、現下日本の最も警戒せねばならない問題であると思ふ。

沖縄を還せと云える口を持つていて　何故千島も共に還せと云へないのか。

勇気がないのか、それともソ聯にはとられてもよいといふのか。我々の主張は常に正しくあらねばならない。偏頗な主張は断じて許さるべきでなく、当然の帰結として実現の力を殺ぐ。

重ねて云ふ。日本民族はまだ生きている。アジアにはアジアの民族が欧米におとらぬ精神生活をし、そして彼等に恥じぬ文化を持つている。走らに他人の附け焼刃に幻惜されることなくもつと〳〵自分自身の持つよさを掘り起して行こうではないか。（文責在記者）

俳壇

出石吟社同人

梅雨の駅を出て接骨院を尋ね行く　久保舟人

梅雨蛸をプラットホームに商へる　山本溯舟

梅雨晴や竿にむつきの乾きおり　梅雨の宿回覧制の雑誌来る　西村朗月

荒壁にカニの這いる梅雨の納屋　梅雨暗き仏壇に灯を奉る　雲瀬浩洋

しとみ戸の開かぬ儘の梅雨の宿　紙魚おとす天保よりの系図かな　高左木芳

山ガニの這う玄関を開きけり　それぞれにカニ怒らせて子等楽し　井上蕉風

砂にカニ押しつけている重石かな　カニ釣の一等に柔和な日が沈む　大平貞諒

カニ釣るや江湖とは古き川港　流木のこゝに朽ちゐてカニ住めり　島上肱舟

梅雨の月金仙閣を出て仰ぐ　梅雨晴や護岸工事のトロ走る　長浜出石吟社は毎週土曜日夜西村方で俳句社を催しています。愛好者はどしどし御いで下さい。

賦課終る

税民住度年九十二和昭

本年度から町民税の外に県民税が創設されたことは前号でお知らせしましたので御承知のことゝ存じます

只違つたのは税率の変更のみでありまして、従前の超過でい次累進税率で十段階に別れていたものを今回の改正で単純累進税率に切替へ税率も百分の二・五迄の七・五から最高百分の七・五迄の間で二九四段階に細別し課税対象額が千円乃至三千円と小刻みに分類されているところに特色があるのであります。

この計算方法に依りますと上下共従来より幾分づつ軽減されることになつてもりますが、今試みに町民税と県民税とを合せて一万円以上を納税される方々を拾つてみますと総数八十七名中、給与所得者が四五名、事業所得者が四二名、略々半々の形であります。

県民税の創設に依り町民税のわくが食い荒されるわけでありますが、之に変つてたばこ消費税が新に入つて参りますので、町全般の税收の面では多少プラスになつて参ります。この増徴分につきましては議会とよく相談致しまして最も有効適切に活用致したいと存じています。

住民税高類納税者調

（単位千円）

①	一八六	黒川時谷
②	一五六	松田五月
③	一〇〇	村上一郎
④	一〇〇	綿木壽衛
⑤	九六	井関忠夫
⑥	八五	清水　鼓
⑦	七〇	満野政榮
⑧	五四	黒田市
⑨	五三	大西秀昭
⑩	四六	小川儀一
⑪	四六	中村新一
⑫	三七	菊地敏行
⑬	三五	米川清三
⑭	三〇	武田　勇
⑮	三〇	綿木玉男
⑯	三〇	矢野輝一
⑰	二九	岸本準一郎
⑱	二九	辻　良清
⑲	二八	門田清右衛門
⑳	二七	三好正俊

以下省略

推進体制成る
中學校復舊工事

長期に亘る異例の前梅雨に、外廻りの仕事は足踏みを餘儀なくされていた中學校復旧工事も、現場に於ける假設工事を完成、真新しいパネルは堆高く校庭に積上げられ、セメント鐵鋼等主要工材は續々と集積され或は雨をおかし或は晴間を縫ふての困難な土工作業を終り愈々本格的な基礎工事が開始されている。

本工事の請負者である、一宮工務店では「長雨の為思はぬ足踏みをしました併し資財の方は順調に集積しておりますから天候かい復と共に馬力をかけて取り返します。不自由な勉強を忍んでゐる子供等のことを考へると、一日も早く完成してやりたいと云う気持で一杯です」と決意のほどを語つている。

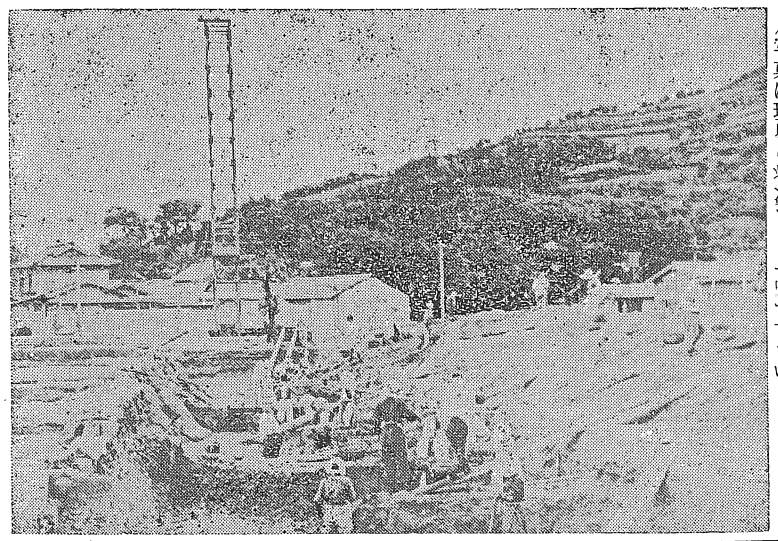
高々とそびえるコンクリート・タワーを見上げる學達の眼は既にして「竣工近し」の希望の色に輝いてゐる。

町村合併と共に本年度の二大事業として畫策された本事業の現況をお伝へして協力を頂いた方々に対する報告と致します。

尚その後本事業に御寄附を頂いた左記の方々に紙上を通じて深謝の意を表します。

一金　一〇〇〇円　尾上稔外二人
一金　一〇七五九　青島中学校ＰＴＡ
一金　一三三〇　元長浜高校々長　平井清

以上、六月三十日現在



（写真は現場の状況）

住民登録制
早くも一周年

この七月一日は住民登録法が施行されてから二周年になります。

二年前皆さんが住民登録をされてから、住所の変つた方はありませんか。

町内で転宅した時や、他の市町村から転入された場合には必ず十四日以内に役場に届け出なければならないことになつています。

まだその届出をされていない方は今からでもすぐ届け出て下さい。

住民登録という制度は皆さんもすでに御承知のとおり市町村の住民たる資格をもつている者を住民票に載せて明確にしておくためのものであります。

この住民票によつて皆さんの住所がはつきりわかりますので選擧、入學、主食の配給、豫防接種、各種証明等いろいろ行政上のサービスを受けることが出来るわけです。

ですからこの届出を怠ると住民としての利便を受けられない結果ともなりますし又法により過料に処せられることもありますから特に御注意下さい。

子供が生まれたり又は死亡した者があつて世帯員が増減した場合には戸籍の出生届、死亡届の外には別に住民登録の届はしなくてよい事になつてをりますがその他は婚姻により住所が変つた場合、世帯主の変更があつた場合等にもすべて住民登録の届が必要です。

皆さん!!引越の場合は住民登録を忘れないよう。

皆さんの生活に直接関係のある住民登録は必ず法定期間内に届出て下さい。

なお当町では住民票の完璧を期するため住民登録簿の写を各区の嘱託員さんに配付致しましたからその名簿（家族名簿）を御覧の上、世帯員で登録もれの方はないか、氏名、生年月日に間違いがないかを確かめて下さい。

〃住むところ、いつもはつきり届けましよう〃

國民金融公庫融資
恩給年金等を担保に

今年の五月に新しい法律が生れまして、恩給や扶助料、年金等を担保にして、国民金融公庫から資金を借り受けることが出来るようになりました。

この制度のあらましをお知らせ致しますから、借受御希望の方は、社会係で詳細をお聴き取りの上、手續きをして下さい。

一、適用法令
昭和二十九年法律第九一号
二、貸付条件
1対象
イ恩給法による恩給及扶助料
ロ遺族等援護法による障害年金及遺族年金を受ける者で、その給与金を一回以上受領した者
2資金の種類と貸付の限度
イ事業資金廿万円以内
ロ消費資金十万円以内
但し恩給等の実支給額（手取額）の二年半分以内
3貸付期間　三年以内
4貸付利息　年六分
5償還方法
元利金の支払は恩給等の支給金を以つてする
6保証人　一名以上
三、借入申込方法
1本貸付取扱機關
松山市榎町二〇
国民金融公庫松山支店
2手續
前記支店より規定の申込書の交付を受け所用事項を記入の上提出する。此の場合、扶助料及年金によるものは戸籍謄本の添附を必要とする
3併合分割の可否
二つ以上の恩給等を一括して担保とすることは出来るが、一つのものを分割して二口以上にすることは出来ない　以上

統計事務職員の表彰

今更統計事務の重要性を説くまでもないが、総べての企畫が統計に基盤を求めその上に立つて行はれるのであるから、日常眼につき難いジミな仕事ではあるがその及ぼす影響は非常に大きいのである。

由来日本では目先のことにかまけて真実の数字を尊重しようとする努力に欠けてゐる。この弊は今日尚払拭することが出来ず、国政の上に大きくマイナスを来してゐる。

最も卑近な例が彼の人造米である。不足食糧の補ひを企てたのであつたが、これらの機械は全国で大あくびをしてゐる。而も国民は餓死しないのである。

こゝまではまだ忍ぶとしても絶対不足の数字に対処する為には、政府は腐りかけた小麦粉や、妙な草の種子の混つた外米をばく大な国費を費して輸入し、その結果生じる過剰食糧の代償としては、徒らに国民の胃袋を、必要以上に拡大し、且疲れさせてゐるのみである。

こうした事実は、供出の責任の伴ふ生産量は可能な限りの過少報告で誤聞化しその反面、給付を受け得る権利の生ずるものについては矢たらに作付面積をぼう張させて、国の数字を混乱に陥れた結果である。

而もこうしたやりくりを上手に指導?し得る人を以つて、今尚政治性に富む者として尊敬する旧思想の残滓を心外に思ふ。

正直者が馬鹿を見る。農民もよろしくうそをつけ!!この悲しむべき指導層の爾正を期せぬ限り、日本の統計には信がおけず、日本の行財政は正常を期し得ないのである。

国は斯かる観点に於て統計事務の重要性を確認し之が適正を期する目的の下に、適時優秀職員の表彰を行ふことゝし、本年度も之を取上げて、喜多郡二十六ケ町村の中では左の四君が栄の表彰を受けることになり、去る二十五日和やかな裡にも厳粛な顕彰式典が、大洲町に於て行はれた。

正しい統計に基く科学的な適正な国政が布かれることを渇望するものである。

（文責在記者）

受賞者氏名
◎長浜町　真鍋　典秋
◎河辺村　大森　高知
◎新谷村　矢野　三幸
◎御祓村　長野　徳義

新發見ヨモギでハエ來る出來るハエ退治

おそろしい伝染病の媒介をする「ハエ」退治に新しい方法を研究実験しております。

原料は「ヨモギ」です。今が一番よく繁茂しておるあの「ヨモギ」を、一刻にしてみ便所の中に振りまいて下さい。ウジ虫発生を防ぐには驚くべき効果を上げてゐます。

月に一回か二回これを実行することに依つてハエのぼく滅が期待されます。全戸残らず実験されます。全くこの様に切望するものであります。（木正一氏寄）

お猿さんの名前がきまりました

前号で募集しました水族館のお猿さんの名前は

おす「長（ちょう）さん」
めす「濱（はま）ちゃん」

ときまりました。

〃町の聲〃にお答へ

口頭で或は文書で役場のことに関し皆様から頂く御注意やら苦情は私共が何時も念願しておりますところの〃よりよい町政〃への激励として最も尊重してゐるものであります。

その中で個人的な問題につもましては夫々個別にお話をきめておりますが全般的な性格を持つたものに対しましては、本紙に依り回答して是正すべきものは正し、誤解や認識不十分なものは、お互に諒解し合ふ様に致したいと存じます。

◆消防團について

去る六月二十三日午前二時頃の火災に於ける消防自動車の活動に対し、御意見が投書されましたので原文のまゝその全文を掲げてみませう。

◎投書の内容

中學校焼失の場合と云へ昨夜と云へ消防（常設）の活動は全くあれでは我々町民が安心してくらせません

中學の場合は条件も悪く やむを得ぬとしても昨夜の活動はもう少し常時の心掛けが大切とつくゞく考へさせられます。雨が無かつたら大事になつてゐます。

自動車が来て水が出るまでどのくらいの時間が掛つてゐますか、ホースがみじかい、いや長い、水が出てからもう一度止めろ……あれを見ては此の消防に大切な町をあづけるのは全く不安です。

重ねて云へますが昨夜雨が無ければ町の大半を焼いてゐます。反省をお願ひ致します。（町民）

これに対する消防団の意見を聞いてみると

◎全く意外です

今度の火災については好条件にも恵まれたが、操作においても遺憾なきを期し得たと思つてゐます。

自動車が着いて送水する迄は三分以内であつたと確信します。

途中で一度送水を止めたことは事実です。これは、新しく購入したホース節約の為の双股接手を取付ける時です。即ち消火の要諦は一秒でも早く火点に送水することであり、あの日もホース一条を現場に伸ばし直ちに送水、次いで別の一条を他方から配置しておいて送水中のホースの中途でつないだのです。それをする為には一時水を止めて双股をかませ、左右両方の口に夫々のホースを継ぐこれで二台のポンプの働きをするのです。これに要する時間は一分とかゝりません。其の後も至極順調に消火に当つたのですが。

と不思議そうに頭をかしげていた。

更に罹災地附近の人達に感想を伺ふと

◎時間的な点では何分かかつたと云ふ様なことは誰にも判らないが、

A非常によくやつて頂いた。感謝してゐる。

B気があせつてゐるからポンプの音を聞いてから水が出るのが待遠しい思いがするのは当然だと思ふ。

C袋の中の様な所だから火点に行き着くのに暇どつたのでないか。

Dあんなむづかしい場所へは誘導する人がついておらねばいかん

等々であり、当夜最も沈着にポンプが来る迄バケツ送水して類焼を豫防してゐたと云ふS氏の話るところに依ると

「火事全般について云ふと第一サイレンがおそかつた。通信連絡の点で善処が望ましい。サイレンから自動車が来る迄の時間は早かつた。送水迄の時間は現場の状況が見へなかつたので何とも云へない。

何分露路もないすり鉢の底の様な場所だから火点に行き着くのが困難であつたらうと云ふことであり尚同氏の希望としては、

①必要度に応じて放水の力を加減して、火より水に依る被害が多かつたと云う様なことがない様にして欲しい。

②服装や訓練は実戦的であつてほしい。あの夜一人だけ、刺子の頭巾をかぶつてゐる人を見受けた。

③所謂彌次馬が多くて消防団の活動を妨げること甚だしい。一般民衆の火災常識の乏揚が望ましい

等々であつた。

これからは此の愛称で呼んでやつて下さい。

応募総数は三六九件で、この中、雄に長、雌に浜をつけたものが圧倒的に多く全部で八五に達しました。

審査に当つた人達も、これだけ多くの子供さんが、希望されるのだからと云ふので、雄に長、雌に浜のついているものは全部採用と決定、全員に入場券を差上げる外、抽せんにより次の十名の方に学用品の御ほうびを贈ることになりました

応募して頂いた皆様に、厚く御礼申上げます。

当せんした方々

長小三　小川幸子
長小三　片岡あい子
長小三　大西利子
長小三　長崎一誠
長小五　門田百合子
長小六　末永芳博
長小六　外山紀明
長中二　福岡光子
長中二　門田月子
長中二　武智房子

◎最後に町の意見を申述べませう。

消防の方々が自信のある行動であつたと確言出来ることは大変喜ばしいことであります。

又附近の人達も概ねこれを認めてゐるものと云へませう。

併しながら投書子の如き意見のあることも真剣に取上げて反省の糧としなければなりません。

たとえば、今度の火災でも不幸にして類焼者があつたとすれば、附近の人達の批判も自ら変つたものになつたかも知れません。

「これ以上は出来ない」と云ふ自己満足より一歩先んじてゞよりよい消防々を要望せられる町民の声に応へて、益々研鑽を加へ、県下に誇り得る消防団になつて頂く様団の皆様にはお願ひ致します。

又町民の方々には、有事の際文字通り水火を辭せず挺身される消防人の労苦と軍資とを認識下さいましてよき理解者としてよき助言者として相共に育成援助して頂きます様お願い致しまして、投書子へのお答へと致します。

やつと愁眉を開いた糞尿處理

金肥の出廻りがよくなつた為、従来は附近農村から汲み取られていた長浜町の糞尿も一向省みられぬこととなり、之の処分には惱み切つてゐたのであるが、幸ひ専業者が出来て去る二十八日から操業されてゐる。

最近東京に出来た、おあい屋さん専門の、ヴァーキユーム・カーには及びもつかないが、先づ〳〵これで漸く救はれた思ひがする。容器は二斗入りの大型物これが一荷（二おけ）で汲み取り捨賃を合せて二十五円

自分で汲み取つて船迄持つて来たら、大小に拘らず一荷十円の捨賃である。

これで河川や海岸を汚染する憂ひもなく、上水道の増補と併せて悪疫防除の態勢が整つたものとして喜び堪えない。

町民各位の御協力を得てすが〳〵しい夏の海遊びが楽しめる様に切望するものである。

専業者は
本町四丁目
清明舍（鎌田久雄氏）
電話呼出二五九番

公營住宅
入居者詮衡

御建山団地公営住宅（鐵筋二階建）十二戸に対する申込は六月二十五日を以つて締切り、直ちに希望者三十四名の実態調査を行ひ、詮衡委員会の議を経て入居者が決定されるのであるが本号締切迄には間に合はなかつた——。

◇お斷り

過般長浜小學校の先生方の中国、北九州方面への研修旅行が行はれ、その旅行記を寄稿して頂いたのでありますが、紙面の都合上、本号に掲載することが出来ませんでした。

甚だ相済みませんが欠号までお待ち願ひます。

出生と死亡

▼出生

樽本　騰　長女　なぎさ
宮内長雄　三女　とも子
二宮多三郎　二男　正人
神野隆憲　二女　恵子
浜田嘉清　長女　藻
小松　霞　長男　和則
紙本峯雄　長女　君代
川崎　眸　三女　文代
大滝　徳　長男　智士
竹内初太郎　長女　恵
森　芳雄　長女　美智子

死亡　なし

六月の會と催し

六・三　西田県議主催合併関係町村長議長懇談会
六・五　港湾經済合同委員会
六・七　定例町教育委員会
六・二　月例出納検査
六・四　定例民生委員協議会
六・一七　総務委員会
六・二〇　「青年の夕」講演会開催
六・二　土木工事再査定
〃　保護施設監査
六・三　保護施設監査
六・三　經済委員会
六・三五　長浜町町村合併促進委員会
六・三六　町営住宅入居者選考委員会
六・三〇　臨時町教育委員会